



地域の暮らしの豊かな発展に

平岡地区町内会連合会

会長 大橋 良一

厚別区の市営住宅団地で四十歳代の兄妹が、死後推定一ヶ月経過して発見されました。今年の二月九日のTVニュースでした。

一つの地域が、生活する集団のまとまりとして単位町内会を組織し、地域の施設・設備を整えたり、人間関係を充実させ生活機能を高めていくことは、地域の福祉、防犯・防災、衛生などの意識の高揚や具体的な行動づくりに大きく貢献すると同時に、地域社会の発展に貴重な成果をもたらすものと思います。

[平岡東町内会の実践から]

安心・安全の

町内会づくりを目指して

平岡東町内会 会長 山本 義雄

家族調書の実施

平成十二年の総会において、町内の総世帯数、会員数、非会員数、七十歳以上の高齢者数を調べ地域構成

◎テーマ
人と人との触れ合いが、交流の原点であり、心の繋がりから思いやりが生まれる。気配りでボランティアが芽生える。

その「ビジョン」

町内会運営の基本は、こうした地域の基本になる状況を明確に定め、地域の共生共栄を図りながら親しみやすく住みやすい、毎日の生活が明るく楽しいものにしていくのが運営の基本ではないでしょうか。

(1) 防犯・防災・交通安全
(平成12年、一人暮らしの高齢者宅でボヤ発生)

①町内防犯・防災活動推進
会を平成十二年発足、十三年度から定期巡回開始。

②平成14年度から、「一人暮らし高齢者への声かけ運動」開始。

※毎月、12名の委員が第二、第四日曜日に巡回。

※冬期間、除雪障害車の取り締りも実施。

③その他
・豊平警察署、土木センタ

・街路灯全灯の市移管推進
(完了)

・私道を市道に認定化する要請(二カ所)
・無灯道路に防災街路灯設置推進(完了)

ひらおか

平岡地区町内会連合会
清田区平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館内
☎ 883-7100
発行責任者 大橋 良一
編集責任者 渡辺綱太郎



いつも明るい役員メンバー

肺蘇生法(AED)の取扱いなど講演会・実習などによる知識と技能を身に付けるよう努力しています。
平成13年の巡回開始以後、防犯・防災等の事故発生もなく、安全・安心の実態が確保されております。

④ゴミの処理
ごみ集積場の当番制度の発足に伴い班編成の研究会を平成12年に発足、13年度から編成変えと班の責任構成による、ごみ清掃管理体制の実施(各班で当番表を作成)6年を経過して、全区域にわたりごみ集積場の清掃・片付け除雪管理が適切に処理され、現在モデル地区の指定を受け頑張っています。

⑤インフラ整備
(完了)

⑥行事等の刷新
・町内行事の慣例化を見直し、創造性豊かな発想で価値観を高める工夫と経費のバランスを考え、家族で参加しやすい企画の改善を考えていいたい。

除雪とパートナーシップ制度の合理化改革「一体化推進創設による公平化負担」

⑦会館運営維持費の確保
・建物売却に見合う補助制度の推進（老朽化対策）
・各単町間で、会館活用の利用を前向きに推進すべきです。
(25単町で8会館)

有り難うございます。

⑧屋根の雪が、暖気で途中まで落ちかかり危険ですので、手を掛けないでください。この程度でしたら、建物に支障は無いと思いますので……。

⑨トイレに陽が入らず暗いです。

⑩照明で対応するようにしてください。

経過を振り返って

以上が、役員をはじめ会員皆さんのご協力を得ながら取り組んできた経過の概略です。

結果として、町内行事への参加員数も一・五倍に増え、地域の皆さんとの触れ合いが拡大しつつあることは大変喜ばしい限りであります。

進藤武雄(82歳) 一人暮らし

さんに聞きました



簡易保険料の団体割引の廃止！

日本郵政公社簡易保険制度の改定

払込団体を十八年度九月末で解散

平岡地区町内会連合会 会長 大橋良一

従来より、札幌市内にある九十九の連合町内会は、それぞれが町内会員の加入している簡易保険料の団体割引の制度の適用を受けました。それは、町内会連合会という大きな組織が、多方面にわたって専門部を設けそれぞれが地域のための活動を創っていく上で、掛け替えのない大きな支えになっていました。



町内会活動の願いに掛けた時間と達成度は、未だ不十分な部分もありますが、皆さんで知恵を出しあって、具体的な取り組みをセットすることにより、町内会と

いえども組織のきずなが強くなり、ひいては地域における生活感も豊かで安定感のある雰囲気を濃くしていくに違いありません。
(二〇〇七年二月記)



民生兒童委員會
主任兒童委員會

菊地和枝

子供のやさしさを育む

あり、性急すぎる……』と
強く抗議しました。

これに対し公社は、『平成十九年十月の民営化に向け、同制度の適正化の方針であり、変更できる余地はなく、突然ではありますが、団体の解散を理解してほしい』との結論でした。

従つて、昨年十月より簡易保険団体扱い手数料収入が未収となります。平岡町連平成十八年度一般会計収入で九十五万円を計上しています。こう考えますと、

ところが、平成十八年度になつて「制度の適用を受けるための払込団体を十八年度の九月末で解散する」との旨、正式の文書で通告がありました。

それを受けて、連合会会長連が共同で……

「……年度途中の解散は、運営・活動に重大な支障が

次年度以降は大変厳しい会計処理となります。

際費・涉外費など支出全般にわたって減額のための協議中です。

また、札幌市に対しましても、平成十九年度の予算編成に向けて簡保団体割引制度の廃止に伴い、貴重な活動財源を失う大きな打撃を受ける地域の町内会に対し、「地域振興助成金の増額をはかり財政支援を強化して欲しい」と要請しているところです。念願しております。

ました。行事内容は、季節にあつたもので楽しんでいただける様に工夫をこらしています。具体的には、昨年の12月にクリスマス会を行い、サロンのスタッフによるエレクトーンと縦笛のコラボレーションをしていました。ただいたところ、皆さん達は、ニコニコしながら口ずさんでいました。その後に、クッキーを食べながら、楽しいひと時を過ごしていたときました。参加人数は今



会場いっぱいの参加者

こうめちゃんサロン

開催日 毎月第2水曜日
時 間 午前10時～12時
場 所 平岡7条3丁目9-25
平岡地区会館



までの最高となる140名で、スタッフ一同驚きの中にも嬉しさを感じながら、お世話をいたしました。今年からサロンの二つめが、平岡東にも開設しました。「プラムちゃんるーむ」と名付けられました。

今年度も楽しんでいただける様に計画を立てておりますので、地域に居られる子育て中の皆様が、どんどん遊びに来ていただきことを心より願っております。子供たちが安全で安心して遊び、健やかに成長してもらうために、地域の皆様、福祉推進委員や関係機関の皆様方の御協力をお願い申しあげます。

サンタのおじさんにインタビュー



サンタのおじさんにインタビュー

までの最高となる140名で、スタッフ一同驚きの中にも嬉しさを感じながら、お世話をいたしました。今年からサロンの二つめが、平岡東にも開設しました。「プラムちゃんのーむ」と名付けられました。

プラムちゃんるーむ

学校を訪ねて

…シリーズ④

札幌市立平岡南小学校 を訪ねました

札幌市立平岡小学校（臼井裕子校長）は、現在、学級数が二十学級、児童数は六百五十一名です。この平岡地区には平岡中央小学校、平岡公園小学校と、同規模の学校が三校あります。開校は、平成元年で、今年度は開校十八年目に当たります。来年度は開校二十周年に向けた研究会、そして、平成二十年度には、記念式典と記念集会が予定されています。

今回は、この平岡南小学校の特色ある教育活動についてご紹

介いたします。

を訪ねました

夏休み前に行われる集会ですが、この大会に向け、休み時間になるとグラウンドに出て、縄くぐりに没頭する仲良しペアの姿が見られます。休み前に見られるほどのとした光景です。

縄くぐり集会

縄を縦割りグループの二人（一・六年、二・五年、三年、四年のペア）でくぐり抜け、そのくぐり抜けた回数を競うという内容の大会です。



平岡南小学校前庭

「そよ風遠足」は平岡公園を舞台に、園内を探索しながら、オリエンテーリングが展開されます。高学年が先導しながらポイント毎に設定されている問題を解いていく姿に、低学年の児童は頼もしさを感じるようです。



そよ風遠足

「校内オリエンテーリング」が実施されます。

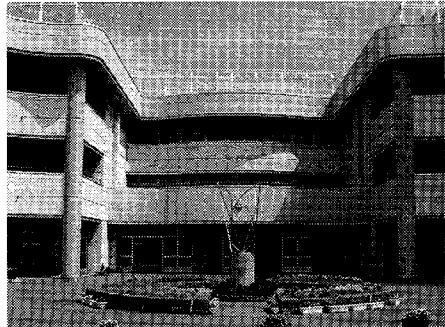
この頃になると、そよ風遠足の時にはちょっと頼りなかつた低学年の児童も、

中学年の児童に負けない程の頑張りが見られる集会で、一年間の成長の姿をしっかりと確認することができます。

例年九月から十月にかけての土曜日に、一日をかけて開催されます。

朝十時半の開会には、平岡中学校のスクールバンドのみなさんの協力を得て、オープニングのセレモニーが行われます。

そよ風フェスティバル



平岡南小学校の児童活動の特色は、何といっても全校縦割り活動である「そよ風活動」です。

全校児童を赤組、青組、

黄色組の三色に分け、色毎に六つの小グループをつくり、十八の縦割り班が編成されます。

この班が中心となつて、五月の「出会いの会」から活動が開始され、七月には

「縄くぐり集会」、九月には「そよ風遠足」と活動が続いていきます。

「縄くぐり集会」は、大

「そよ風遠足」は平岡公園を舞台に、園内を探索しながら、オリエンテーリングが展開されます。高学年が先導しながらポイント毎に設定されている問題を解いていく姿に、低学年の児童は頼もしさを感じるようです。

十一月の一日公開には、「カルタ集会」が行われ、十二月には、「平岡南集会」で縦割りグループ対抗の

「そよ風フェスティバル」が実施されます。

そして、最後の締めくくりとして「ありがとうの会」が三月に計画されます。

一年間お世話になつた縦割りグループの仲間に感謝する会です。このそよ風活動を通して子供たちには縦

のつながりができるとともに仲間意識が育まれていきます。いつまでも大切にしていきたい活動です。



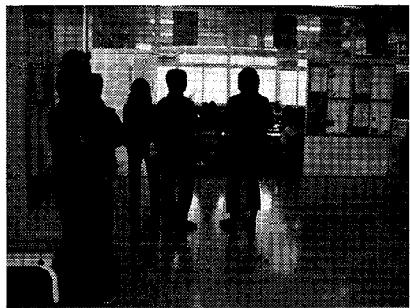
そよ風フェスティバル オープニング

体育館には入り切れない程多くの保護者の皆様・地域の方々が集まり、大いに盛り上げてくださいます。

開会後、体育館やワークスペースを使って繰り広げられるゲーム大会やバザーにも、多くの方が関心を寄せ、どの会場も大盛況です。

児童、保護者、教師はもちろんのこと、最近は、地域の方々の参加も多く、地域を巻き込んだ一大イベントとなってきたいるような感じで、大変うれしいことだと思っております。

そよ風フェスティバル



熱心に参観する保護者の皆様

「地域に開かれた学校」の重要性が叫ばれる中、「そよ風フェスティバル」の果たす役割は年々益々大きくなってきてているのではないか。どう思っております。

「地域に開かれた学校」の重要性が叫ばれる中、「そよ風フェスティバル」の果たす役割は年々益々大きくなってきてているのではないか。どう思っております。

学校の一日公開

「ALT（外国語指導助手）による英語の授業に目を輝かせる子供たち

あいさついっぱい運動

あいさついっぱい週間が始まりました



児童会活動で「あいさつ運動」が計画され、子供たちの中にはあいさつに対する関心が高まりつつある中、二学期に入り、子供たちの心の教育の一環として学校全体であいさつ運動に取り組みました。

はじめは抵抗感や照れから小さな声でしかあいさつできなかつた子供たちにも、大きな声で元気にあいさつする姿が見られます。

校舎前での朝のあいさつ



今年度も地域の方々を含め二百名近い方に参観していただいた上に、貴重なご意見もたくさんいただきました。

平日開催ということでお父さん方の出席が少ないのが残念ですが、次年度は開催の方法に更なる工夫を加えていきたいと考えています。

十二月には「あいさついっぱい週間」が企画され、先生方ばかりではなく、子供たちの中にもあいさつ当番の子供たちが玄関前に並び大きな声で元気にあいさつを始めました。

少しずつあいさつが定着してきて、あいさつすることが自然な形でなされるようになつてきています。

また、あいさつがこだまする学校を目指していきたいと願っています。校内に止まらず、地域の方々にも自分から進んであいさつができる子を目指して、この運動がしっかりと根付いていくように取り組んでいきたいと考えています。



【人間の絆を求めて】

人間の絆が希薄になつたという嬉しくない話です。地縁・血縁・同世代など然るべきかかわりがあつても、会話が難しい・親しみが薄い……等々、心や感性のひびき合いの乏しさを物語るさみしい感じがします。

今年度で五回目をむかえました、「遊びを楽しむ」高齢者のクラブがあります。(平岡南小学校一年と懇々クラブ)

小学一年生と高齢者クラブ 昔の遊びで交歓!!

第五回 隔世世代の交流会
梅ヶ岡懇々クラブ 会長 小笠原 琢美

“楽しいものを遊びというのか”
“遊びだから楽しいのか” いずれにしても、勝が負けるか……できるかできないか……目標がはつきりして、どうすればいいのか……もわかつている、あとは自分の工夫と努力次第です。

五年前、平岡南小学校で初めて一年生(約120名)と対面したのは大きな体育館でした。挨拶やら自己紹介やら、たとえ一年生であっても人の前です。久々に緊張したりうきうきの悲喜こもごもの対面でした。

ケン玉を教える



上手になった技の発表

写真は、第2回目の研究集会へ参加した時の開会セレモニーです。



歓迎の挨拶する1年生



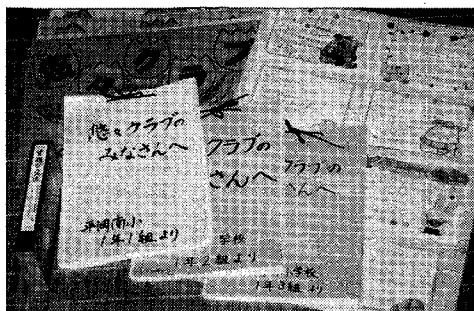
楽しいあやとり

何日か過ぎて感謝のお便りがとどきます。会長宅に先生と一緒に届けてくれます。全員の手書きです。

いつも感じます、一年生は上達・達成への意欲が強い。クラブの会員は、遊びを知つていても必ずしも全ての種目が得意ではないし、年齢からして技もおちてい

ます。それでも、一年生はさして上手でない見本を真似ようと先を争います。そして、偶然でもいいとにかく出来ると飛び上がり喜びます。その上達や発達に対する意欲の強さに、つい圧倒されてしまします。

一年に一回の遊びですから私たちにとつて児童の様子を記憶することは大変難しいのですが、ともすると、散歩と下校時が重なつてあつおじさんだなんて言われたりする一年生のみずみずしい記憶、ためらわず反応する素直さ、私たちの世代にとつては眩しいほどの明るさに魅せられます。



かわいい感謝文

それでも、一年生はさして上手でない見本を真似ようと先を争います。そして、偶然でもいいとにかく出来ると飛び上がり喜びます。その上達や発達に対する意欲の強さに、つい圧倒されてしまします。

ファインダーの奥に

平岡高校写真部 顧問

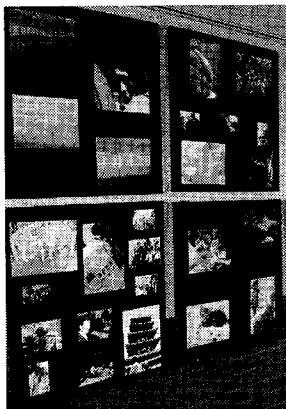
藤本誠

絵画は、キャンバスと筆で表現しますが、写真はカメラのファインダーを通して見た映像で表現します。自然の美しい風景や人物の表情など、時と共に織りなす情景を一瞬のシャッターで記録していきます。

平岡高校を訪れた木村・大泉さん(STV)



シャッタースピードや露出などの細やかなテクニックもありますが、生徒達がその時その時心の中の絵が写し出されていると思います。



平岡高校展示スペース

さて、平岡高校写真部は高文連主催の写真展や道展などを中心に出品し、高分連の全道大会に毎年出場し実績を積んでおります。校舎内では、美術部や書道部と共に校内展示を通じて校舎内の美化に寄与しております。

技術面では、平岡在住の写真家である浅野久男氏の助言を頂き、写真の感性を磨いております。

昨年度と今年度は、ある縁でネスレのキットカットのウェブコマーシャルに写真提供し、全国7都市の地下鉄の車内広告にその写真が使用されたり、また、STVの「1×8行こうよ!」



挨拶をする中鉢会長



昨夏、地下鉄の中吊り広告に出た平岡高校生の作品

第7回 平岡地区老連協・演芸発表会

**高齢パワー全開
多種・多芸、終日盛況**

参加総数 百四十八名の新記録

という番組に出演する機会

もあり、大変有意義な活動ができました。

俳優の大泉洋さんやキャ

スターの木村洋二さんが来

校し、撮影を行いました。
また、機会があればチャンスを生かし、みずみずしい感性を磨いていきたいと願っています。

……中略……

「参加のみなさん、今日は私ども平岡の高齢者のクラブが日頃から取り組んでいる踊りや歌の文化活動の発表の日です。

私は会長として、一年に一度のこの大会に期待を寄



スペシャルゲスト しんたく美心会

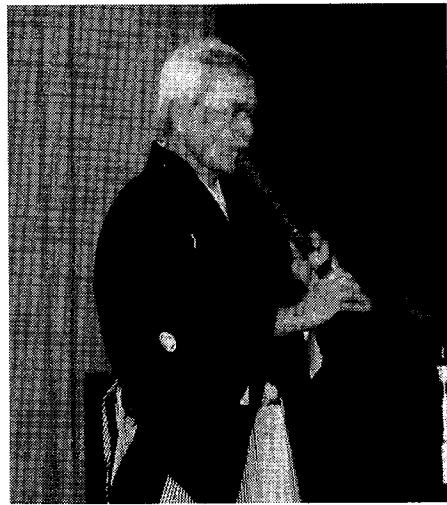
せていくことがあります。その一つ、ステージでの演技の種類が増え、楽しそうな雰囲気の出演が多くなったかということです。二つ目は、一生懸命頑張っている出演者を大切に出来るか……ということです。

ステージに上がつたら拍手を贈り、演技が始まつたら静粛に、終わつたら努力に対し敬意と激励の拍手をしましよう。このことは、平岡老人クラブの心のレベルを問われる問題です。みんなで頑張りましょう。

……後略……

いつも元気な中鉢会長です。後期高齢者の域にありながら平岡の9クラブのリーダーとして健在です。今年は、従来の辣腕松本幸也文化部長のあとを継ぎました上野幸雄文化

部長の綿密な立案・運営により終日心地好い感動に浸ることができました。清田地区には、他に「芸能大会を実施している地区もありますが、その規模や内容において、もつともっと努力しなければならないという話も耳にします。高齢者クラブ界にあって演芸に関わる取り組みのリーダーとして、今後、一層の工夫・研鑽を積まれまして平岡地域の文化性の向上に励んでください。



「荒城の月」を演奏する黒木さん



文芸欄

唯の会

北海道俳句協会常任理事 代表

永野照子教室

風花や 味方百人 敵二百
今生の 命繋ぎて 網の餅

バーカシティ平岡町内会
山 下 松 寿

星月夜 宮沢賢治を 読んでおり
エメラルドグリーンの日傘 すれ違う

平岡北町内会
佐 藤 まゆみ

除雪車の 音凜凜 夜のじま
雪像の 駱駝の涙 夕茜

春風台町内会
竹 澤 範 子



「星の降る街角」楽生会のステージ

あ
と
が
き

この冬、札幌市の気温は零下十度を越える日があり、除雪の費用や事故への危険度など考えると、ありがたい冬だったのかな?なんて思うのです。

このことを、寒暖といふ意味だけでとらえると、暮らし易かったということがあります。しかし、変化という意味で考えますと、さては夏の気象にもその可能性が……と言ふ余計な心配も生まれます。融ける雪を見ながら、晴らしの夏でありますように……。

簡易保険制度の一部改定により、「町連」の予算にも大きく影響……。運営に知恵を出し合い活動を質的に弱体化させない工夫の年度を迎えます。

「冬号」は、6ページと計画したものの、版下づくりで7ページまで原稿が伸びました。北海プリンタ（広報印刷会社）へ相談しましたところ、6ページの枠で了解して戴きました。発刊の陰の支えを感謝しています。（渡辺）